

平成23年度 事業報告

(平成23年4月1日より平成24年3月31日迄)

I 事業の状況

1. 郷土芸能に関する発表会の開催

(1) 全国こども民俗芸能大会:8月20日(土)

東京都新宿区の「日本青年館・大ホール」に於いて、『第13回全国こども民俗芸能大会』を開催した。観客数1,018名。

<内容>

全国各地より選出された様々な子どもたちの民俗芸能と海外より招聘した子どもたち民俗芸能の披露及び情報交換・交流会を行った。

<出演団体>

- 北海道・東北ブロック 青森県十和田市
「晴山獅子舞」 晴山獅子舞保存会
- 北海道・東北ブロック 岩手県北上市【全郷芸会員枠】
「鬼剣舞」 鬼柳鬼剣舞保存会
- 関東ブロック 群馬県伊勢崎市
「千本木龍頭神舞」 千本木龍頭神舞保存会
- 近畿・東海・北陸ブロック 石川県加賀市
「敷地天神蝶の舞」 敷地天神蝶の舞保存会
- 近畿・東海・北陸ブロック 兵庫県養父市【全郷芸会員枠】
「葛畑農村歌舞伎」 せきのみや子ども歌舞伎クラブ
- 中国・四国ブロック 高知県室戸市
「佐喜浜にわか」 佐喜浜古式行事保存会子ども俄部会
- 九州・沖縄ブロック 長崎県対馬市
「対馬巖原の盆踊」 曲郷土芸能保存会
- 海外団体 ロシア
「ロシア・ウリチ民族の伝統舞踊」 ウリチ民族芸能団「ホスタ」

(2) 全国地芝居サミット:11月5日(土)、6日(日)

「第21回全国地芝居サミットin成田」が、千葉県成田市の東横 INN 成田空港(ホテル)と成田国際文化会館に於いて以下の日程、内容で開催された。参加団体は、地芝居関係が26団体、宿泊を伴う参加者は、256名。

11月5日(土) 14時30分 開会 会場:東横 INN 成田空港(ホテル)

基調講演「農村歌舞伎の伝統と再生」

宮本瑞夫(元立教女学院短期大学学長)

シンポジウム「農村歌舞伎の復活と継承」

報告 景山正隆(全国地芝居連絡協議会初代議長)

パネルディスカッション

コーディネーター 安田徳子(岐阜聖徳学園大学教授)

パネリスト(団体) たてやま村歌舞伎保存会、小鹿野歌舞伎保存会、秋川歌舞伎保存会、菅生一座、葛畑農村歌舞伎伝承会、伊能歌舞伎保存会

交流会出演団体 成田おどり花見保存会、神武館道場大竹利典
11月6日(日) 9時～16時 会場:成田国際文化会館

歌舞伎上演、特別講演

- 取香三番叟保存会 祝儀舞「取香三番叟」
- 伊能子ども歌舞伎「絵本太功記十段目 尼崎閑居の場」
- 伊能歌舞伎保存会「一の谷嫩軍記 熊谷陣屋」
- サミット宣言～次期開催地紹介
- 特別講演「歌舞伎にぞっこん」山川静夫(アナウンサー)
- 伊能歌舞伎保存会「奥州安達ヶ原三段目 袖萩祭文」

(2) 全国獅子舞フェスティバル:12月11日(日)

「第14回全国獅子舞フェスティバル・白岡町」を埼玉県白岡町に於いて開催された。入場者数は約500人。

<内容> 地元白岡町と埼玉県内及び全国の様々な形態の獅子舞の共演

<会場> 埼玉県白岡町中央公民館講堂

<出演団体>

- 「赤獅子」文化伝承団体「獅伝」(山形県白鷹町)
- 「水戸大神楽」柳貴家勝蔵社中(茨城県水戸市)
- 「バリ島のバロンダンス」深川バロン倶楽部(東京都江東区)
- 「紺屋町木獅子の舞」掛川市紺屋町区青年会(静岡県掛川市)
- 「名護の大獅子」名護市青年団やんばる船(沖縄県名護市)

◇県内団体

- 「本宿天神社獅子舞」北本宿囃子連(埼玉県北本市)
- 「原馬室の獅子舞・棒術」鴻巣市原馬室の獅子舞棒術保存会(埼玉県鴻巣市)
- 「お囃子と獅子舞」菁菘囃子会(埼玉県白岡町)
- 「神田の天王様」神田の天王様保存会(埼玉県白岡町)
- 「小久喜のささら獅子舞」久伊豆神社ささら獅子舞保存会

白岡町立南小学校郷土文化研究クラブ(埼玉県白岡町)

2. 指導者、保存団体の育成

指導者研修会:8月20日(土)・21日(日)

20日:日本青年館大ホールにおいて開催された『第13回全国こども民俗芸能大会』のリハーサルを星野氏の解説付きで見学、その後公演を鑑賞した。

21日:指導者研修会「第8回伝統文化研修セミナー」を日本青年館中ホールに於いて開催した。参加者62名。

<内容>

基調講演「日本中の子どもと大人が祭りに生きる日」講師:芳賀日出男(写真家)

事例発表 ①「宮田獅子舞」青森県青森市

若松十六乃会 会長 今 直人

②「塩竈神楽」宮城県塩竈市

塩竈市立第三小学校郷土芸能クラブ 教諭 藤野芙岐子

③「東京花祭り」東京都小平市

東京花祭り実行委員長 廣木 房枝

④「新町獅子舞」 熊本県熊本市

熊本新町獅子保存会 総務部長 栗崎 強

パネルディスカッション

「日本再生の基礎 民俗芸能におけるこどもの役割」

◎コーディネーター

小島 美子(国立歴史民俗博物館名誉教授)

○パネラー

宇野小四郎((公財)現代人形劇センター顧問)

高橋 建(本海獅子舞番楽伝承者協議会幹事)

田村 学(国立教育政策研究所教育課程調査官)

星野 紘(東京文化財研究所名誉研究員)

3. 情報の収集及び提供

(1) 情報収集及び提供

ホームページは、主たる事業内容が確定次第に更新。平成23年7月の1回。

(2) 会報発行

第63号から第66号まで発行した。

○第63号 平成23年 4月15日 発行(26頁)

○第64号 平成23年 7月15日 発行(24頁)

○第65号 平成23年10月15日 発行(24頁)

○第66号 平成24年 1月15日 発行(24頁)

4. 出版物の発行

全郷芸編「日本の祭り文化事典」(発行:東京書籍)の普及を行った。

5. 国際交流

「アジア太平洋無形文化遺産研究センター」開設記念シンポジウム:平成23年10月4日(火)

ユネスコの標記センターが堺市博物館内に10月3日に開設され、翌日に開設記念シンポジウムが開催された。堺市よりこのシンポジウムでの芸能公演の業務委託を受け、「早池峰神楽」(早池峰岳神楽保存会)の芸能披露を行った。藤井知昭(同センター長)氏がコーディネーターを務めたシンポジウムでは「危機に瀕する無形文化遺産の復興と継承を考える」をテーマに日本、カンボジア、キリバスの識者により現状や課題等が討議された。

6. 顕彰

6月18日(土)の第18回総会において、入会5年継続の団体会員9団体と、10年継続の団体会員14団体に感謝状を贈呈した。

7. 調査研究

(1) 文化庁「平成23年度文化芸術振興費補助金(文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業)」の補助金交付を受けた事業「全国の地芝居と農村舞台の調査と活性化事業」として調査を行い、報告書を作成した。

8. その他

(1)「新宿芸術天国2011」(新宿区まつり):平成23年10月9日(日)

新宿区事業「新宿芸術天国2011」(新宿区まつり)を主催する新都心新宿 PR 委員会より依頼を受け、新宿から被災地へ元気を送る目的で、被災地である岩手県南三陸町の「水戸部鹿子踊」と同じ行山流の師弟関係である「舞川鹿子踊」の混合チームを標記事業に派遣し、パレードなどで芸能を披露した。

(2)第4回南信州獅子舞フェスティバル:平成23年10月16日(日)

長野県飯田市に於いて標記事業が開催された。フェスティバルの実行委員会より依頼を受け、「目黒流貫井囃子保存会」(東京都小金井市)と「水戸太神楽・柳貴家正楽社中」(茨城県水戸市)を派遣した。

(3)子ども民俗芸能フェスティバル2011:平成23年10月22日(土)

岩手県北上市の北上市文化交流センターさくらホールで開催された標記事業に主催者より当協会顧問の芳賀日出男氏の基調講演の依頼を受け、派遣した。基調講演のテーマは「日本中の子どもが祭りに生きる日」で、その後事例発表が2例あり、第2部は子どもたちの芸能が披露された。

(4)かながわ伝統芸能祭「地芝居2012」:平成24年3月4日(日)

神奈川県事業として「神奈川県立青少年センターホール」において開催され、その舞台制作を行った。

<出演・演目>

○藤野歌舞伎保存会(神奈川県相模原市)

「太功記十段目 尼ヶ崎の段」

○歌舞伎ワークショップ「歌舞伎の音 義太夫と所作について」竹本弥乃太夫社中

○いずみ歌舞伎保存会(神奈川県横浜市)

「御存鈴ヶ森」

9. 収益事業

資料室(グリーンハイツ404号室)の賃貸事業を行った。期間は4月～12月。(1月に売却)